

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和5年9月5日(火)

9:40～11:30

場 所 松江市立出雲郷小学校

家庭科室・各教室

指導者 埋蔵文化財調査センター職員3名

出雲郷小学校教諭4名

1 主題 身近な遺跡について学び、はにわを作ろう

2 ねらい ○松江市の遺跡や古墳を知ること、地域の歴史・文化についての理解・関心を深める。

○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

3 展開

時間	学習内容	支援等	準備物
9:00 ごろ	学校到着・荷物搬入 授業準備	・粘土・道具など荷物搬入 ・出土遺物の展示 ・パソコンと大型テレビの接続	学校準備物 ・大型テレビ ・接続用ケーブル
9:40 ～9:45 (5分)	はじめの会(家庭科室) ・本時のねらい ・講師紹介(自己紹介)	・本時の見通しをもてるよう、学習内容やねらいを伝える。	センター準備物 ・パソコン
9:45 ～10:00 (15分)	身近な遺跡や古墳を知る (埋C職員)	・学校周辺の遺跡地図から身近なところに遺跡や古墳があることを示す。 ・古墳の写真(パワーポイント)や出土品を示し、興味を持てるようにする。	・資料 ・出土遺物 ・粘土板・加工具 ・ラップを巻いたトイレットペーパーの芯
10:00 ～10:10 (10分)	「はにわ」について学ぶ (埋C職員)	・「はにわ」がどのようなものであったか、写真などで説明し、体験活動への動機付けをする	・製作手順のプリント ・アンケート用紙
10:10～ (20分)	出土遺物見学・教室移動	・教室へ移動する前に近くで遺物を見学	児童準備物
10:30 ～11:20 (50分)	はにわづくり体験 (各教室;埋C職員)	・体験の前に製作手順を説明する。 ・児童の様子を見まわりながら、必要に応じてアドバイスをする。	・筆記用具 ・机に敷く新聞紙 ・水入れ
11:20 ～11:30	終わりの会(各教室;教諭) ・感想発表 片づけ	・教諭から児童数名の感想を聞き、まとめをする	